

2011年 統一地方選挙の展望

研修会ご案内

～第5回マニフェスト大賞直前企画～

来春の統一地方選挙は、2003年、我が国にはじめてマニフェストが登場して以来、3度目の選挙となります。この7年間、マニフェストは地方から産声を上げ全国に拡がり、国政選挙でも標準化されました。しかしながら、現在、有権者のマニフェストに対する信頼は傾き、政策選挙への期待は薄らいでいます。また、この間、地方選挙（首長）でも条件付きながらマニフェストの配布が可能となり、今後は、地方議員選挙においてもマニフェスト選挙が展開できるよう期待されています。さらに、インターネットを活用した選挙活動も導入される流れにあります。

このような時節にあたり、早稲田大学マニフェスト研究所では、これまでのマニフェスト型選挙の総括と進化する今後の選挙手法について、立候補を予定されている皆様方との学習できる機会を下記のとおり設けさせていただきました。皆様方のご参加をお待ちいたしております。

記

■日時：2010年10月29日（金） 13:00～16:40

■場所：早稲田大学大学院ファイナンス研究科 大ホール
〒103-0027 東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目ビルディング 5F（コレド日本橋）

■参加人員：先着120名様（別紙申込用紙にご記入の上、メール又はFAXでお申し込みください）

■参加対象：現職首長、現職地方議員、これから選挙に立候補を予定している方

■参加費：無料

■内容：（講演時間内に10分間の質疑応答含）

12:30～ 受付開始

13:00～13:50 【講演】「マニフェスト型選挙の総括とこれからの新展開(仮称)」
マニフェスト提唱者であり、国の動向と全国の自治体を熟知している北川正恭・早稲田大学マニフェスト研究所長による講演。

13:50～14:30 【講演】「メディアが指摘するこれからの選挙」
メディアは、今後の地方選挙のポイントは何所にあると捉えているか。有権者は候補者のどこに注視しているか毎日新聞論説委員の人羅格氏による講演。

14:30～15:10 【講演】「選挙の戦い方の分析手法」
選挙区内には、職業、年齢、地域課題など多様な要素がありますが、注目を集める公約の作成方法、効果的な選挙展開の実践のために、これからの選挙手法として情報分析による選挙戦術の立て方についてPMLab 吉田康人氏による講演。

15:10～15:20 休憩

15:20～16:00 【講演】「IT活用で進化する選挙活動。新しい政策の提案。」
選挙時煩雑な事務となりがちなスケジュールや有権者情報の管理や共有、選挙時や当選後も活用できるインターネット会議などの情報共有サービスの紹介についてマイクロソフト 鷺見大氏による講演。

16:00～16:40 【発表】「議会改革の現状と今後の方向性」
早稲田大学マニフェスト研究所が行った全国議会調査結果から地方議会の現状と今後の方向性を発表。

16:40 研修会終了

17:00～ 意見交換会

連絡先：早稲田大学マニフェスト研究所 担当：中村、林（TEL：03-6457-6852）

参加申込用紙

(お申し込み期限：10月25日)

■ご芳名 【 _____ 】

■所属議会 【 _____ 】

※下表へ○印をつけて下さいますようお願いいたします。

※会費：総会・研修会費 無料。 意見交換会費 3000 円。

※お申し込みが120名に達した時点で、受付を締め切らせていただきますがご了承ください。

※お申し込みいただいた方には、こちらから確認の連絡をさせていただきます。

	該当する箇所へ○印を記入してください
研修会のみ参加	
研修会と意見交換会に参加	

■ご連絡先（必ずご記入ください）

電話番号：

メール：

■その他（ご一緒に参加される方がいらっしゃいましたらこちらにご記入願います）

FAX送信先：03-6457-6852

メールアドレス：mani@maniken.jp

早稲田大学マニフェスト研究所